

かぜを参考に、病気はどのようにして起こるか、話し合って整理してみま
しょう。

● 病気の起こり方



病気





病気の起こり方を整理してみよう。かぜ以外の病気でも考えてみよう。

例：食^{しょく}中^{ちゆう}毒^{どく}、むし歯

病原体

例：病原体が付いた手で食事する

生活のしかた

例：すいみん不足

かんきょう
環境

例：寒い日

ていこう力

例：つかれている

病気は、病原体、体のていこう力、
生活のしかた、^{かんきょう}環境などが関わり合って
起こります。病気の起こり方を知ること、
病気を^{ふせ}防ぐ方法を考えることができます。



かぜをひいたとき、
どんな^{げんいん}原因が関わり
合っていたのかな。

プチ

^{さいきん}細菌もウイルスもとても小さいですが、^{さいきん}細菌は
ウイルスの約100～1000倍の大きさがあります。

3

Nさんはかぜをひいてしまいました。
どうすればかぜを^{ふせ}防ぐことが
できたのか、Nさんにアドバイス
してください。

Nさんは、10月のある寒い日の朝、友達と
駅前で待ち合わせをしました。駅前には多くの
人がいて、せきやくしゃみをしている人も
いました。Nさんは、前の日にスポーツの大会
に出て、つかれていましたが、
ゲームをして夜おそくまで
起きていました。



Nさん



ねえねえ、Nさん……

.....

.....



学習の進め方について自分で工夫したことや、もっと学習したいこと、なるほどと思ったことを書いておきましょう。



シートに
書こう



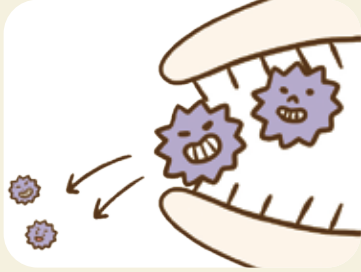


ていこうかって、 何だろう？

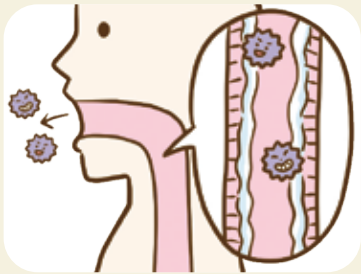
わたしたちの体には、病原体などから体を守り、
病気にかかってもそれに打ち勝とうとする力が
そな備わっています。それが、ていこう力です。

● 体が持っているていこう力

なみだは、ほこりやごみを^{あら}洗い流したり、病原体の働きを弱めたりする。



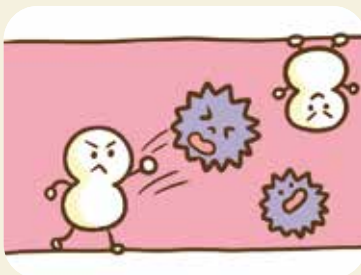
鼻毛はちりやほこりなどを引っかけ、くしゃみはそれらを外に出す。



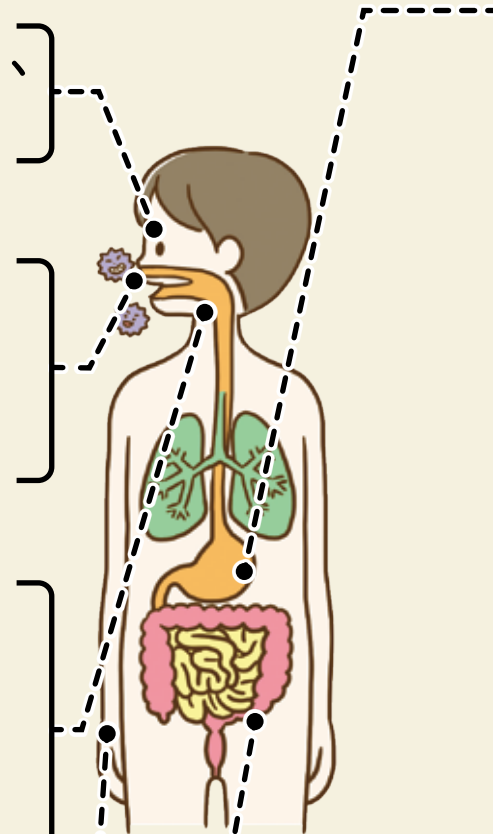
のどのおくは、ねん^{えき}液が病原体をつかまえ、細かな毛が動いて、それを外に出す。



ひふ^ひ皮膚は、病原体を通さない。外側はあかとなって、くっついた病原体ごとにはがれ落ちる。



ちょう^{ちよう}腸には、^{にゆうさんきん}乳酸菌・^{きん}ビフィズス菌などがすんでいて、外から入ってきた病原体が^ふ増えるのを^{ふせ}防いでいる。





胃から出る^{えき}液は、病原体の働きを弱める。

- 病気の^{しょうじょう}症状は、体がていこう力を働かせて病気とたたかっていることの表れ

発熱、のどのはれ

病原体の働きをおさえようとして出る。

くしゃみ、せき、鼻水

病原体などを体の外に出すために出る。

はく、^{げり}下痢

^{どくぶつ}毒物を体の外に出すために起こる。

プチ

病原体が体の中に入ってきたり、がん細胞^{さいぼう}が
できたりすると、血液^{けつえき}の中の「白血球」が中心と
なって、それらをこうげきします。